

[ 解説 収録 - 覧 ]

① P. 70 (9) (10)

② P. 91 ④ チャレンジ

③ P. 71 ② ← A7方式の対象

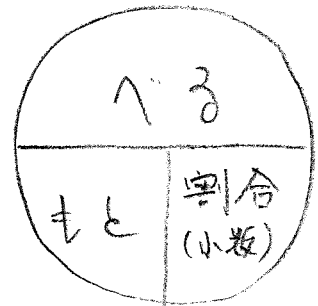
※他にも☆(質問)マ-7があったが、先週HPにア-7した。  
 「小5算数 第9回 類題解説」と同じ考え方を使うものは省略します。

① P. 70 第9回 - ③

(9) 「定価の何割引きで売ったか」とあるので、  
 定価をもとにする数で割る。

よ.ア.  $\frac{1200}{1500} = 0.8 \rightarrow 8割 (で売った)$   
比々数 比々数

10割 - 8割 = 2割 (引いた)



A. 2割引き

(10)  $\left\{ \begin{array}{l} \text{仕入れ値} : 4500 \text{円} \\ \text{定価} : 4500 \times \frac{1.2}{(1+0.2)} = 5400 \text{円} \leftarrow \text{仕入れの2割増} \\ \text{売値} : 5400 \times \frac{0.8}{(1-0.2)} = 4320 \text{円} \leftarrow \text{定価の2割引} \end{array} \right.$

4500円で仕入れた、4320円で売ったので、損した金額は、

$4500 - 4320 = 180 \text{円}$

A. 180円

② P.91

④ 子どもと大人の人数がちがうからわかりづらいので、  
たまたま、どちらかにそろえよう。

(1) で大人の人数を聞かれているので、大人の人数にそろえよう。

(1) する。子ども1人と大人1人でペアをつくるイメージを持ちよう。

また、(大人の人数にそろえる) = (子どもが3人減る) であるから、

子どもが3人減るとミカンの過不足がどうなるかを考えよう。

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{子ども1人に6個ずつ配ると37個あまる} \\ \text{= 9個 = } \end{array} \right. \begin{array}{l} \text{子どもが} \\ \text{3人減ると} \end{array} \begin{array}{l} \longrightarrow 37 + 6 \times 3 = 55 \text{ (個あまる)} \\ \longrightarrow 9 \times 3 - 2 = 25 \text{ (個あまる)} \end{array}$$

はい、これで準備完了です。

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{子どもと大人のペアに 9個ずつ配ると 55個あまる} \quad \dots \text{ (★)} \\ \text{(6+3)} \\ \text{子どもと大人のペアに 14個ずつ配ると 16個あまる} \\ \text{(9+5)} \end{array} \right.$$

よって、 $(55 - 25) \div (14 - 9) = 6 \text{ (組)} = \text{ペアの数}$

A. 6人

(2) (1)の★より、 $9 \times 6 + 55 = 109 \text{ (個)}$

A. 109個

※ ④ P.69 ④ も同じ考え方で可!

③ P.91

チャレンジ

(1) 「女子 60人が男子と同じく 265円ずつ返金したら」と考えよう。

女子 60人に返金する金額は 1人あたり 15円ずつ少なくなるので、

 $15 \times 60 = 900$  (円) ず、返金額が 900円少なくて済みます。だから不足額は 900円減った。  $1900 - 900 = 1000$  (円) と知りよう。

これで準備完了です!

(生徒 1人あたり)	250円ずつ返金すると	1175円あまる	... (★)
:	265円ずつ	:	1000円不足する

よって生徒数は、  $(1175 + 1000) \div (265 - 250) = 145$  (人) ← 生徒数したがって男子は、  $145 - 60 = 85$  (人) です。A. 85人(2) (1)の (★) より、  $250 \times 145 + 1175 = 37425$  (円)A. 37425円※ (演) P.69 4+6 も同じ考え方でよ!

① P.71

② 「3人には3個ずつ、4人には4個ずつ、5人には5個ずつ、そして残りの子どもには6個ずつ」

とありますね。この際全員に6個ずつ配りましょう。

すると、ただでさえ足りないチョコがもっと足りなくなってしまうね。何個足りなくなってしまうか？

$$\text{そう、} 10 + (6-3) \times 3 + (6-4) \times 4 + (6-5) \times 5 = 32 \text{ 個。}$$

32個足りなくなってしまう。

これで準備完了ですね！

$$(100 + 32) \div (6 - 4) = 66 \text{ (人)} \leftarrow \text{子どもの数}$$

よってチョコの数は、 $4 \times 66 = 100 = 364 \text{ (個)}$  とはいえます。

A. 364個

解説は以上です。

今週は総合回です。各回の考え方をしっかりと復習しようね！